



Title	人間科学の創立50周年にあたって
Author(s)	臼井, 伸之介
Citation	未来共創. 2022, 9, p. 3-4
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/88545
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大阪大学人間科学部は1972年に設立され、本年、創立50周年を迎えます。設立当初は、「人間科学部」という名称はおろか、「人間」と名のつく学部すらありませんでしたが、現在、わが国には38の「人間科学部」があります。その意味で、本学部はまさに時代を先取りする存在であったと言えるでしょう。

人間科学の 創立五〇周年にあたって

本学部は設立以来、文系、理系という枠にとらわれず、新たな学際的領域に視野を広げながら、社会の現実を、さまざまな学問分野の知見・研究方法から総合的に捉えることにより、現代社会の諸問題を解決することを目指してきました。その理念として、「学際性」「国際性」「実践性」の3つを掲げています。

本学部が教育・研究を進めるにあたっては、まずはそれぞれの研究領域での「専門知」を深めることを第一とし、そして専門知を学際的に統合することにより新たな「統合知」を構築し、さらには国内外の多様な問題を抱える当事者や、社会で生きる人々と協働して、学際的な知を広く学外の人々と作り出す「共創知」の創出を目指しています。特にその共創知の創出を促進するために2016年、新たに設置された組

織が「附属未来共創センター」です。

大阪大学のOUビジョン2021では、新たな大学院教育の枠組みとして、DWAA(Double-Wing Academic Architecture)を掲げています。DWAAでは、複雑で多様化する社会課題の解決には、一方向からのアプローチでは難しいため、さまざまな方向から考える汎用力を身につけ、さらには多様なステークホルダーと協働し、ともに考える力を養成することを目指しています。そしてDWAAの教育は、「知の探究」「知と知の融合」「社会と知の統合」の3領域から構成されています。このように記すと、それらはまさに本学部が掲げる「専門知」「統合知」「共創知」とほぼ同一の概念であることに気づかされます。

現在、全国の大学では、学内の専門性にとどまらず、社会との連携から問題解決を図るという考えが重要視されています。その意味では本学部は設立から50年経った現在においても、時代を先取りしていると言えるでしょう。皆さまには今後も本学部、本センターでの活動に自信と誇りを持って、新たなチャレンジ精神を持ち続けて頂きたいと考えています。

人間科学研究科長
白井 伸之介